

11/21 玉液

70歳以上高齢者の医療費負担

上限引き上げで受診抑制狙う

安倍政権は、70歳以上の高齢者の医療費負担の上限額を現役世代と同水準に引き上げ、受診抑制を進めようとしています。上限を定められた「高額療養費制度」を改めるもので、法改定が必要ないため2017年度から実施をねらっています。

同制度では、窓口で全額を支払い、1カ月の上限額を超えた分が払い戻されます。

入院で月100万円かかった場合、70歳以上の上限は「現役並み」現役世代である70歳未満の上限は月最大25万円です。政府は「世代間での負担の公平化」を口実に、70歳以上の上限を現役世代

と同水準にしようとな

ります。

支が1・5万円です。外來は所得ごとに最大4万4千円から8千円までとなっていきます。

今までと比べて、若者より医療にかかりやすいとして設けられた通院の上限特例も廃止するとしています。

低所得者は4・4倍、一般所得者は4・8倍、現役並み所得者は2・5・7倍に跳ね上がります。(表)

負担上限は15年度から現役世代でも引き上げたばかりです。入院

費用も引き上げます。

若者も引き上げます。

現役世代にも高齢者にも負担を押し付けるものです。

社会保険審議会の部

会では「経済力の差で医療へのアクセスを阻害してはいけない」(連合)「受診抑制にならぬ。外来だけですめば(負担面などで)患者にもプラスだ」(日本

歯科医師会)との批

判が続出しています。

日本共産党は、低所得者や治療が長期間に

わたる患者らの過重負担を軽減するため、能

力に応じて負担する立

場で高額療養費制度の改善を主張。現役世代

も高齢者も上限を大幅に引き下げるなど、現役世代の通院にも窓

口で自己負担分のみの支払いにするなどを掲げています。

(松田大地)

らっています。

現役並み所得者は、

収入ごとに負担を区分

し、年収370万円未

満の一般所得者や低所

得者も引き上げます。

若者より医療にかかり

やすいとして設けられ

た通院の上限特例も廃

止するとしています。

低所得者は4・4倍、一般所得者は4・8倍、現役並み所得者は2・5・7倍に跳ね

上がります。(表)

負担上限は15年度か

ら現役世代でも引き上

げたばかりです。入院

費用も引き上げます。

若者も引き上げます。

現役世代にも高齢者にも負担を押し付けるものです。

社会保険審議会の部

会では「経済力の差で医療へのアクセスを阻

害してはいけない」(連合)「受診抑制にならぬ。外来だけですめば(負担面などで)患者にもプラスだ」(日本

歯科医師会)との批

判が続出しています。

日本共産党は、低所

得者や治療が長期間に

わたる患者らの過重負

担を軽減するため、能

力に応じて負担する立

場で高額療養費制度の改善を主張。現役世代

も高齢者も上限を大幅に引き下げるなど、現役世代の通院にも窓

口で自己負担分のみの支払いにするなどを掲げています。

(松田大地)